

蔵王町地域景気動向に関する調査結果要約版

1. 調査の概要

1.1. 調査期日

令和 7 年（2025 年）3 月

1.2. 調査対象(39 件)

業種内訳

業種	1. 建設業	2. 製造業	3. 小売業	4. 飲食業	5. 不動産業	6. 農業	7. サービス業	8. 宿泊業	9. その他	無記入	回答件数計
件数	17	1	2	5	0	4	6	0	3	1	39
%	43.6%	2.6%	5.1%	12.8%	0.0%	10.3%	15.4%	0.0%	7.7%	2.6%	100%

1.3. 調査結果別紙一覧

(1)全業種(39 件)の調査結果

別紙1:蔵王町地域景気動向に関する調査結果(全業種)

(2)建設業(17 件)の調査結果

別紙2:蔵王町地域景気動向に関する調査結果(建設業)

(3)建設業以外(22 件)の調査結果

別紙3:蔵王町地域景気動向に関する調査結果(建設業以外)

1.4. DI(ディフュージョン・インデックス)値の説明

- ・調査項目「2. 1－1）～3. 9－2）」についての3択回答をDI 値(%)で1指標にまとめる。
- ・DI 値とは、例えば「良好」、「変化なし」、「悪化」の3択結果を「良好」回答数-「悪化」回答数を「変化なし」回答数を含めた全回答数で割った数値を%表示したもので、調査結果の全体の方向性を示す指標である。

$$\text{DI 値(}\%)=(\text{「良好」回答数}-\text{「悪化」回答数})\div(\text{全回答数})\times 100$$

(例 1)「良好」回答：20 件、「変化なし」回答：25 件、「悪化」回答：5 件 の場合

$$\text{DI 値(}\%)=(20-5)\div(20+25+5)\times 100=15\div 50\times 100=30$$

(例 2)「良好」回答：5 件、「変化なし」回答：20 件、「悪化」回答：25 件 の場合

$$\text{DI 値(}\%)=(5-25)\div(5+20+25)\times 100=-20\div 50\times 100=-40$$

1.5. 設問項目毎の DI 値の意義の説明

設問項目	設問対象			回答選択肢(三択)			・DI 値の計算式 (DI 値幅:△100～100) ・プラス値、マイナス値となる条件他
	前年	現在	今後見込み				
1 業況	◎	◎		1.良好	2.変化なし	3.悪化	「良好」回答％値－「悪化」回答％値 プラス値:「良好」回答％＞「悪化」回答％ マイナス値:「良好」回答％＜「悪化」回答％ ・DI 値が大きいほど景況にプラス
2 営業用設備 3 雇用人員		◎	◎	1.不足	2.適正	3.過剰	「過剰」回答％値－「不足」回答％値 プラス値:「過剰」回答％＞「不足」回答％ マイナス値:「過剰」回答％＜「不足」回答％
4 資金繰り		◎	◎	1.好転	2.変わらない	3.悪化	「好転」回答％値－「悪化」回答％値 プラス値:「好転」回答％＞「悪化」回答％ マイナス値:「好転」回答％＜「悪化」回答％ ・DI 値が大きいほど景況にプラス
5 販売価格		◎	◎	1.上げた(上げる)	2.変わらない	3.下げた(下げる)	「上げた(上げる)」回答％値－「下げた(下げる)」回答％値 プラス値:「上げ」回答％＞「下げ」回答％ マイナス値:「上げ」回答％＜「下げ」回答％
6 仕入価格		◎	◎	1.上がった(上がる)	2.変わらない	3.下がった(下がる)	「上がった(上がる)」回答％値－「下がった(下がる)」回答％値 プラス値:「上が・」回答％＞「下が・」回答％ マイナス値:「上が・」回答％＜「下が・」回答％ ・DI 値が大きいほど景況にマイナス
7 売上高 8 売上高総利益 9 所得金額	◎	◎		1.増加	2.横ばい	3.減少	「増加」回答％値－「減少」回答％値 プラス値:「増加」回答％＞「減少」回答％ マイナス値:「増加」回答％＜「減少」回答％ ・DI 値が大きいほど景況にプラス

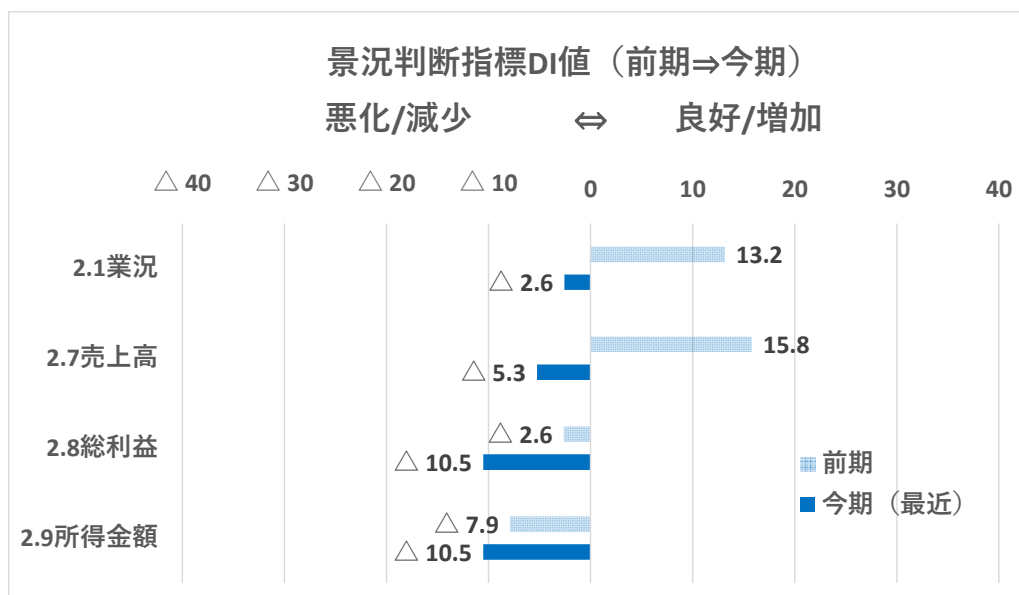
2. 調査結果のポイント

2.1. 全業種(全件)調査結果の要点

● 景況判断指標

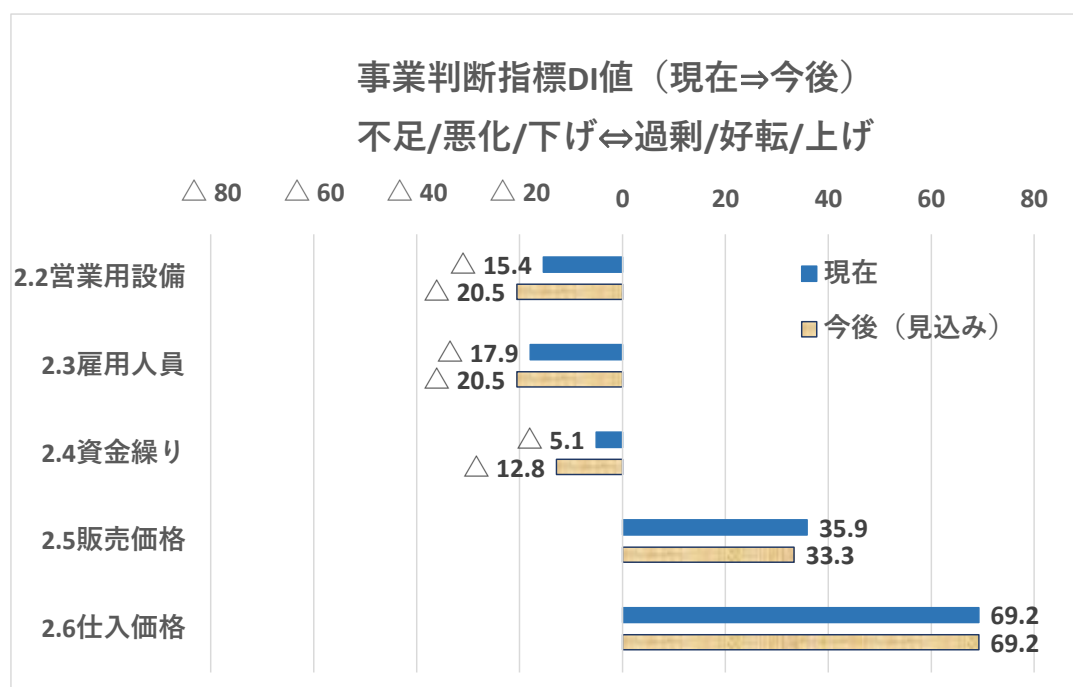
・ 今期の DI 値は全て負値であり、現状での企業の景況判断は厳しいものとなっている。業況・売上高は前期のプラスからマイナスに転じている。

- ・ 業況：前期の 13.2 から今期は△2.6 に悪化、
- ・ 売上高：前期の 15.8 から今期は△5.3 に悪化
- ・ 総利益：前期の△2.6 から今期は△10.5 に悪化、
- ・ 所得金額：前期の△7.9 から今期は△10.5 に悪化



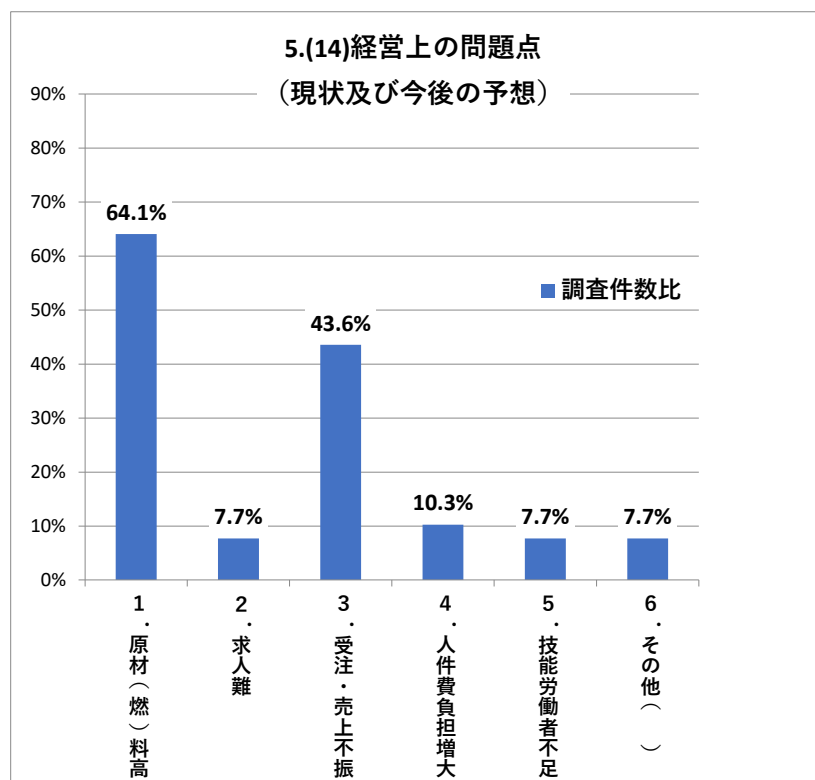
● 事業判断指標

- ・ 営業用設備：現在の△15.4 と不足気味から、今後は△20.5 と更に不足拡大と見込む
- ・ 雇用人員：現在の△17.9 と不足気味から、今後は△20.5 と更に拡大と見込む
- ・ 資金繰り：現在△5.1 と悪化の状態であるが、今後は△12.8 と更に厳しくなると見込む
- ・ 販売価格：35.9%の企業が価格を上げているが、今後も引き続き 33.3%が上げる指向
- ・ 仕入価格：差引 69.2%の企業が仕入価格上昇と回答、今後も 69.2%が上昇と予想



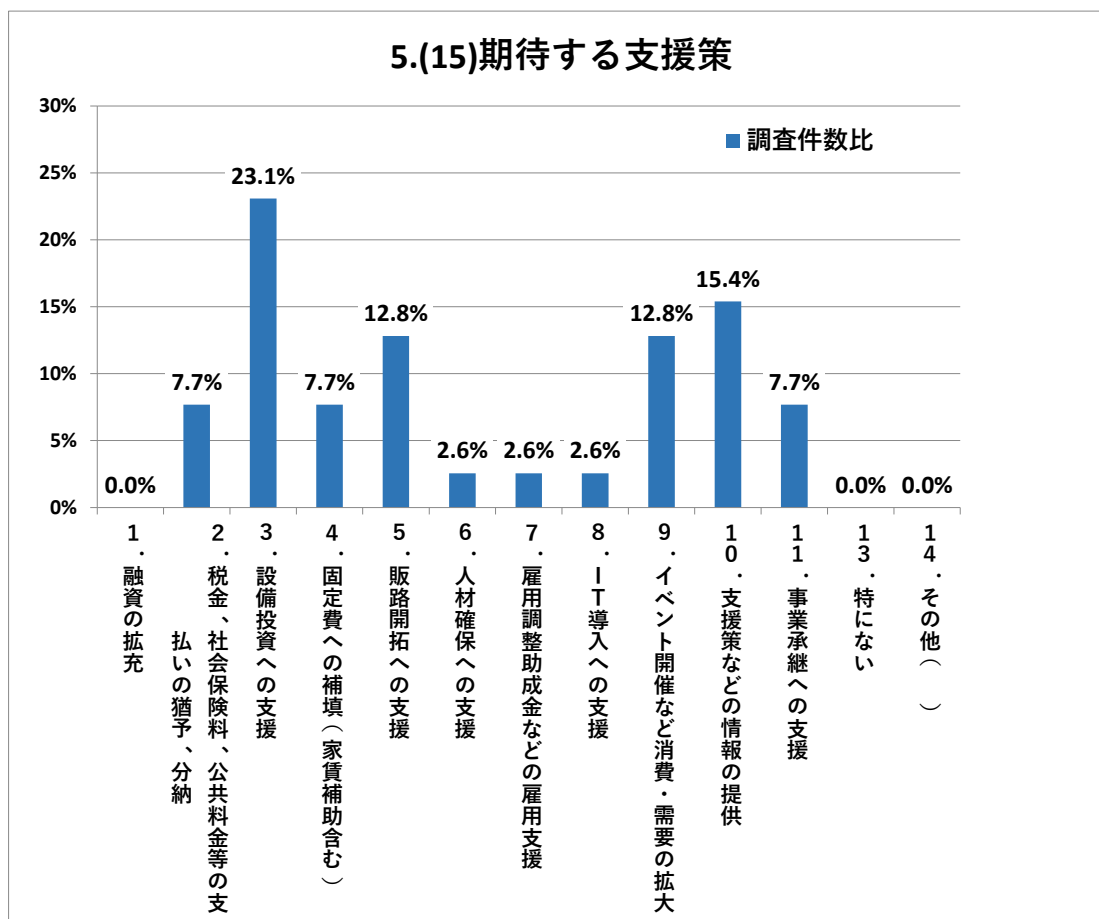
● 経営上の問題点

・「1.原材料高、燃料高」を問題点としている割合は64%、次いで「3.受注・売上不振」を指摘する回答が44%、「4.人件費負担増大」が10%となっている。（上位3項目説明）



● 期待する支援策

・期待する支援策は「3.設備投資への支援」が23%で第一位、次いで「10.支援策などの情報の提供」が15%、「5.販路開拓への支援」、「9.イベント開催等」が共に13%で続いている。（上位3項目説明）

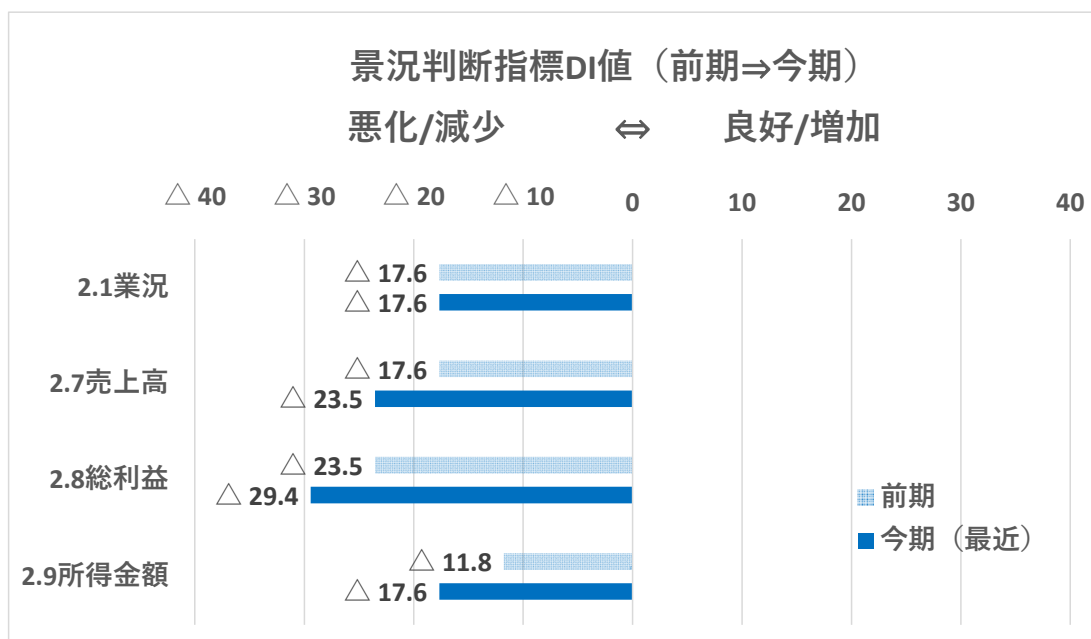


2.2. 建設業種のための調査結果の要点

● 景況判断指標

- ・ 前期、今期共に全指標 DI 値がマイナスであり、業界の厳しさを反映した数値となっている。

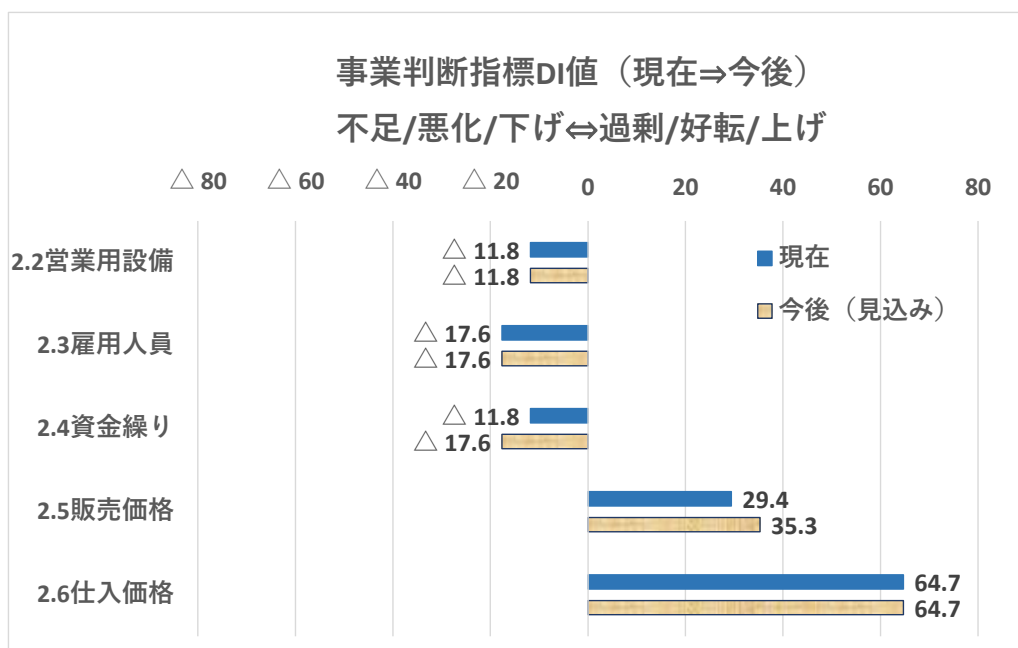
業況 : 前期、今期共に△17.6 と厳しい状況
 売上高 : 前期の△17.6 から今期は△23.5 に更に悪化
 総利益 : 前期の△23.5 から今期は△29.4 に更に悪化
 所得金額 : 前期の△11.8 から今期は△17.6 に更に悪化



● 事業判断指標

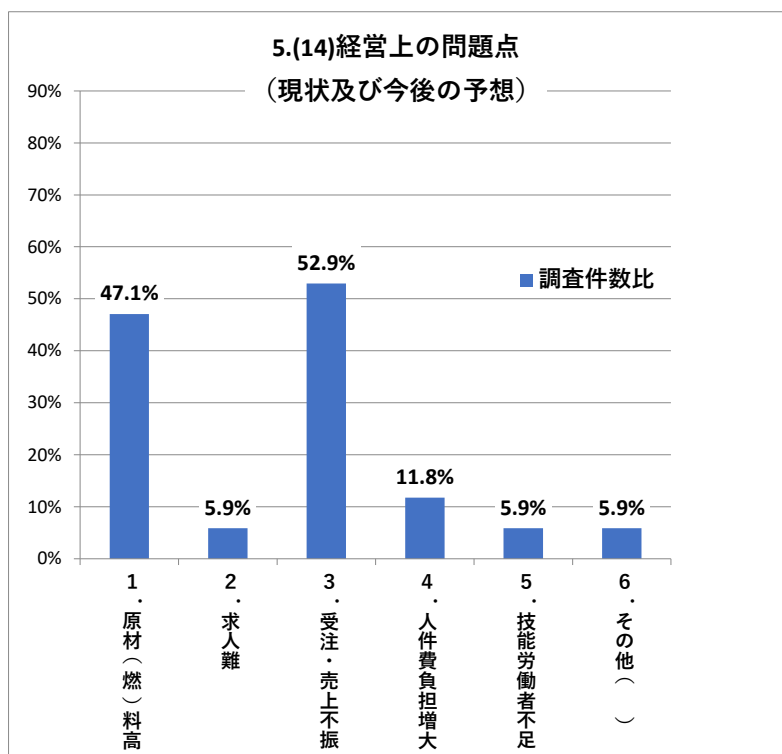
各項目の傾向

- ・ 営業用設備 : 現在、今後とも△11.8 と不足状況が継続すると予想
- ・ 雇用人員 : 現在、今後とも△17.6 と不足状況が継続すると予想
- ・ 資金繰り : 現在の△11.8 から今後は△17.6 と一層悪化すると予想
- ・ 販売価格 : 29.4%の企業が価格を上げているが、今後は 35.3%が上げる指向
- ・ 仕入価格 : 64.7%の企業が仕入価格上昇と回答、今後も 64.7%が上昇と予想



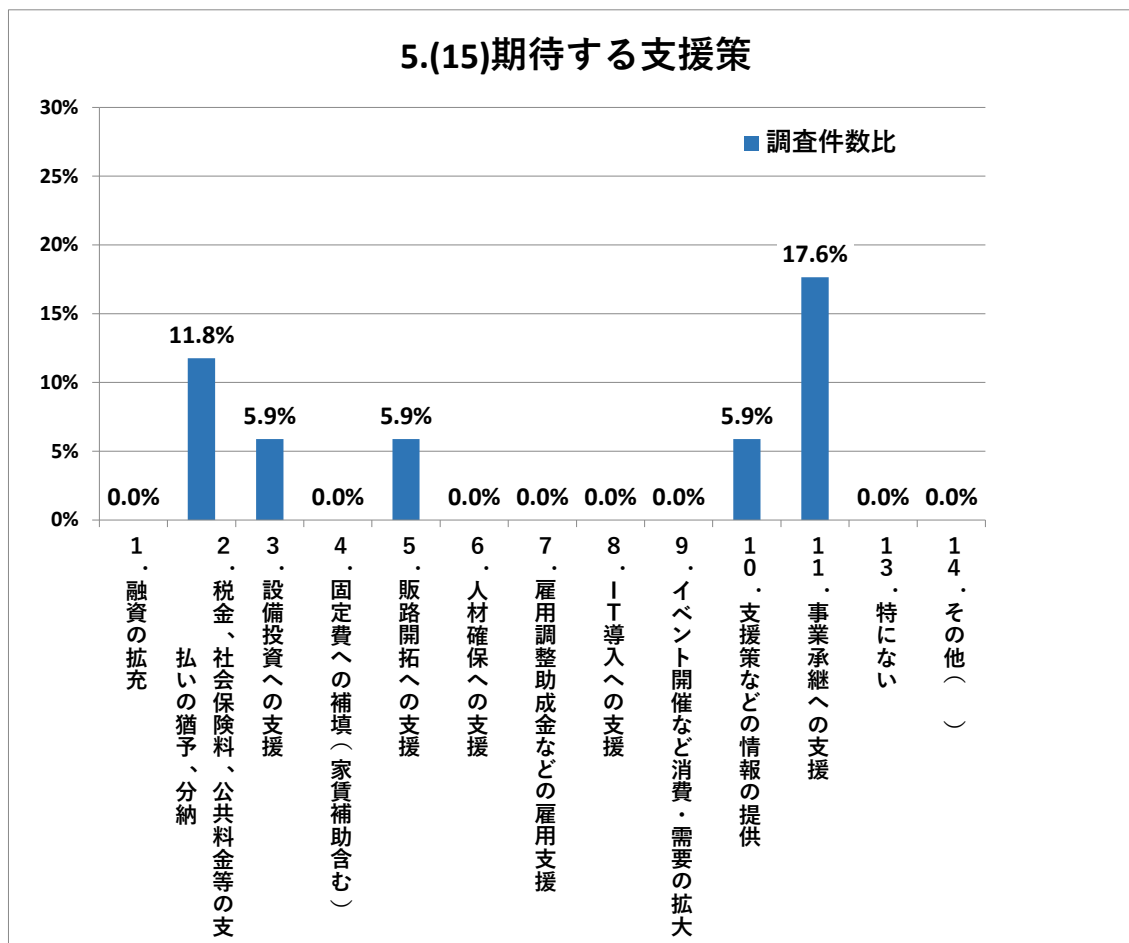
● 経営上の問題点

・「3.受注・売上不振」を指摘する回答が53%、「1.原材料高、燃料高」を問題点としている割合は47%、次いで「4.人件費負担増大」が12%となっている。（上位3項目説明）



● 期待する支援策

・期待する支援策は「11.事業承継への支援」が18%と最大で、次いで「2.税金等の猶予・分納」が12%、「3.設備投資への支援」、「5.販路開拓への支援」、「10.支援策などの情報提供」が同率6%で続く。（上位3項目説明）

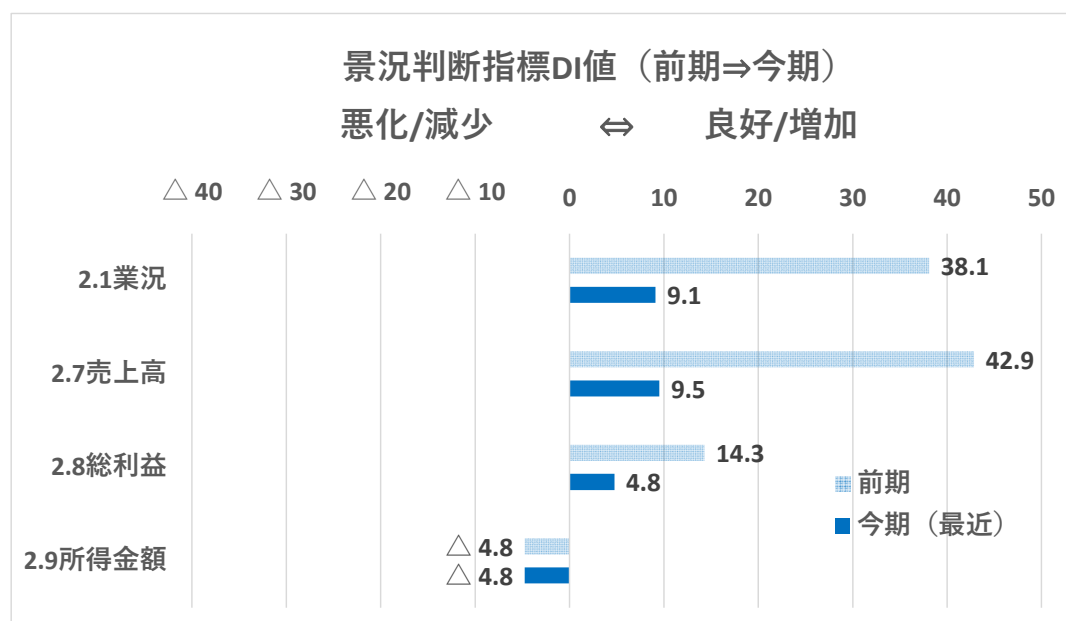


2.3. 建設業以外の調査結果の要点

● 景況判断指標

・今期の DI 値は所得金額以外はプラスであるものの、業況・売上高は前期に比べて大きく後退している。
総利益も前期に比べ後退している。

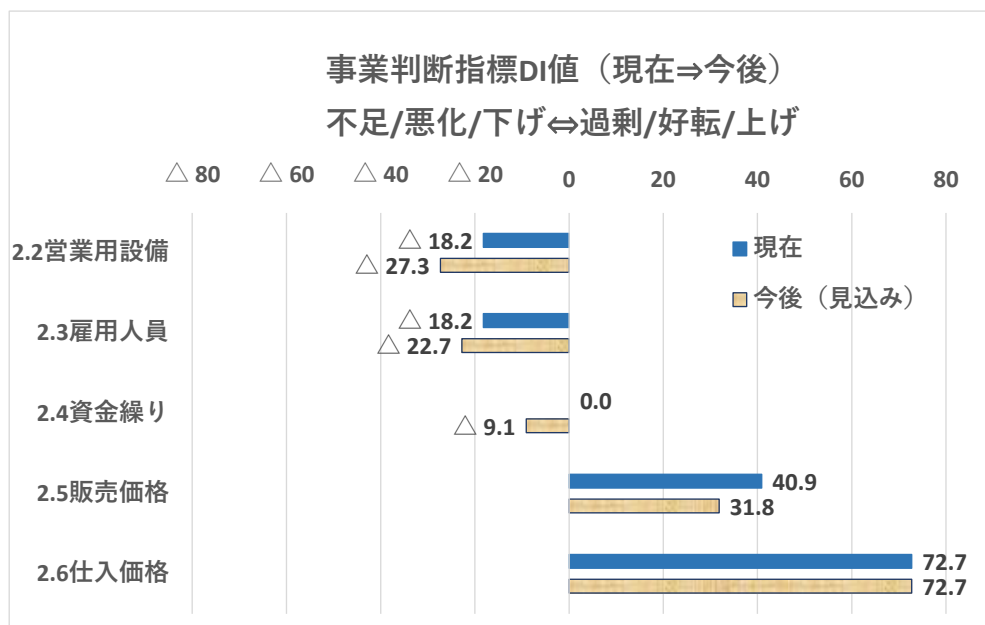
業況 : 前期の 38.2 から今期は 9.1 に大幅に減少
売上高 : 前期の 42.9 から今期は 9.5 に大幅に減少
総利益 : 前期の 14.3 から今期は 4.8 に減少
所得金額 : 今期・来期ともに DI 値は△4.8 とマイナス値



● 事業判断指標

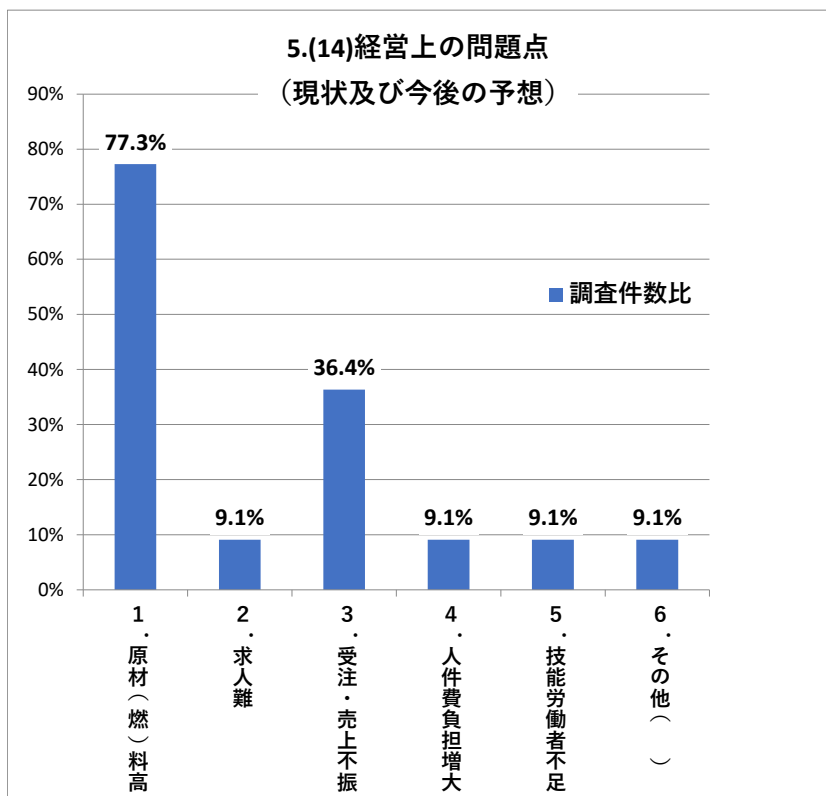
各項目の傾向

- ・営業用設備：現在△18.2 と不足状況であるが、今後は△27.3 と不足状況が拡大すると予想
- ・雇用人員：現在△18.2 と不足状況であるが、今後は△22.7 と不足状況が拡大すると予想
- ・資金繰り：現在の不可もない状況から、今後は△9.1 と悪化すると予想
- ・販売価格：現在差引 40.9%の企業が価格を上げているが、今後は 31.8%が上げる指向
- ・仕入価格：現在 72.7%の企業が仕入価格上昇と回答、今後も同様に上昇と予想



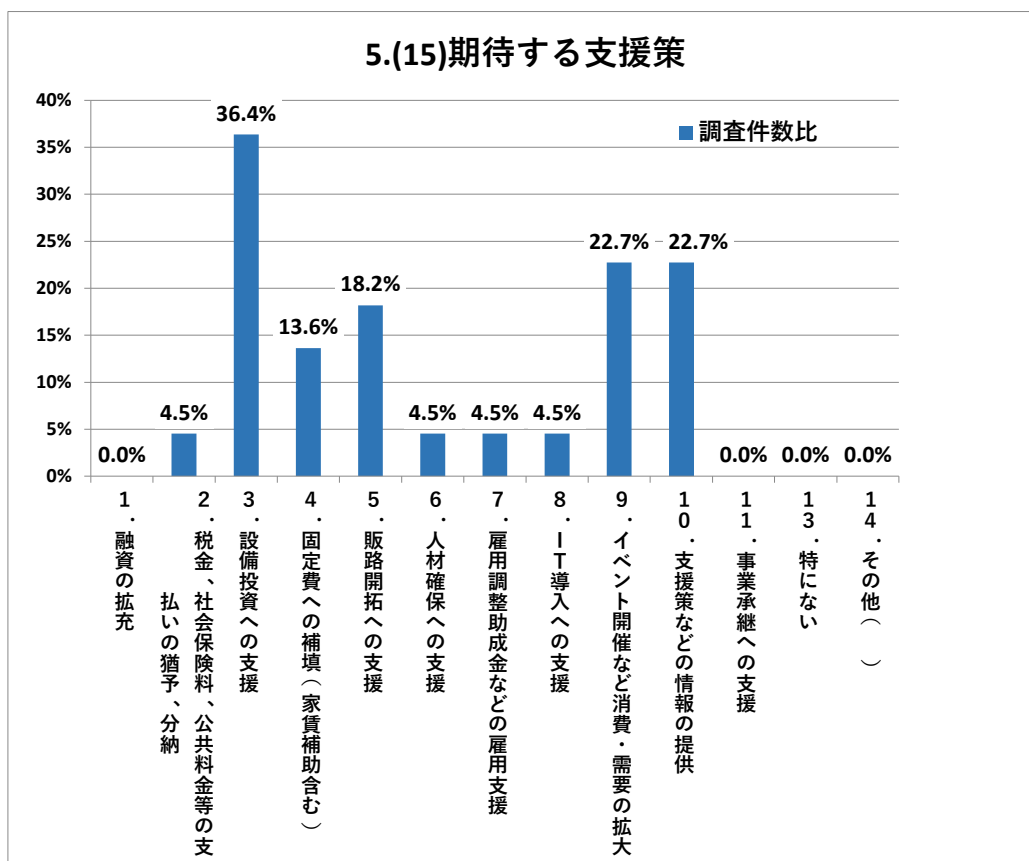
● 経営上の問題点

・「1.原材料高、燃料高」を問題点としている割合は 77%、次いで「3.受注・売上不振」を指摘する回答が 36%、残りが各 9%程度となっている。



● 期待する支援策

・期待する支援策は「3.設備投資への支援」が 36%で第一位、次いで「9.イベント開催など」と「10.支援策などの情報の提供」が共に 23%で続く。(上位 3 項目説明)



以上